

# 社会科 《第1学年》年間指導計画・評価計画

担当（ 松 木 園 英 理 ）

## 社会科 地理的分野目標

- （１）日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。
- （２）日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとかかわりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。
- （３）大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。
- （４）地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

関は、社会的事象への関心・意欲・態度、思は、社会的な思考・判断・表現、技は、資料活用技能、知は、社会的事象についての知識・理解

## 【第1学年】

月	単元名	指導目標	指導内容		評価規準	評価方法	小学校との関連
4	ガイダンス	地理学習について意欲を高める	・地理学習の意味・意義、地図帳の使い方やノートのとり方の確認	関	意欲的に取り組もうとしている	・行動観察	
	1章 世界の姿	地球表面の様子を地球儀や世界地図を活用して捉えさせ、地球上の位置の表し方や球面上の位置関係を捉える技能や知識を身に付けさせる。	・地球儀や世界地図を活用し、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを取り上げ、世界の地域構成を大観させる。	関	世界の地域構成の基本的な枠組みについて関心を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・ノート	わたしたちの国土 （5年） 世界の中の日本 （6年）
	1 地球をながめて	地球儀や世界地図を活用し、世界の地域区分や国々の名称と位置などを基にして、世界の地域構成を捉え、大まかな世界地図を描けるようにする。		思	世界の地域構成を、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・ワークシート ・ノート ・小テスト ・定期考査	
	2 いろいろな国の国名と位置			技	地球儀や世界地図に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。世界の地域構成を踏まえて大まかに世界の略地図を描いている。	・ワークシート ・ノート ・小テスト ・定期考査	
	3 緯度と経度			知	世界の地域構成について、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを理解し、その知識を身に付けている。	・小テスト ・定期考査	
	4 地球儀と世界地図の違い						

5  6	2章 世界各地の人々の生活と環境  1 世界のさまざまな生活と環境 2 暑い地域の暮らし 3 乾燥した地域の暮らし 4 温暖な地域の暮らし 5 寒い地域の暮らし 6 高地の暮らし 7 世界各地の衣食住とその変化 8 宗教と生活とのかわり	世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。	・世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。	関	世界各地の人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究しようとしている。	・行動観察 ・ノート	世界の中の日本 (6年)
				思	世界各地の人々の生活と環境の多様性を自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・ワークシート ・ノート ・小テスト ・定期考査	
				技	世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。	・ワークシート ・ノート ・小テスト ・定期考査	
				知	世界各地の人々の生活と環境の多様性について自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活の様子と変容を理解し、その知識を身に付けている。	・小テスト ・定期考査	
6 7 9 10	3章 世界の諸地域  1 アジア州 2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州 4 北アメリカ州 5 南アメリカ州 6 オセアニア州	世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基にした主題を設定してそれぞれの州の地域的特色を理解させる。	・世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる ・地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる。 ・世界の諸地域に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、様々な地域又は国の地域的特色をとらえる適切な主題を設けて追究し、世界の地理的認識を深めさせるとともに、世界の様々な地域又は国の調査を行う際の視点や方法を身に付けさせる。	関	世界の諸地域の地域的特色に関する関心を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・ノート	世界の中の日本 (6年)
				思	世界の諸地域の特色を各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・ワークシート ・ノート ・小テスト ・定期考査	
				技	世界の諸地域の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。	・ワークシート ・ノート ・小テスト ・定期考査	
				知	世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	・小テスト ・定期考査	

11	4章 世界のさまざまな地域の調査	世界の諸地域に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、様々な地域または国の地域的特色を捉える適切な主題を設けて追究させ、世界の地理的認識を深めさせるとともに、世界の様々な地域または国の調査を行う際の視点や方法を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域について、学んできたことなどを踏まえて、自分の調べたい地域又は、国を一つ選び、「なぜ、〇〇では～なのか。」という形式で調査テーマを決める。</li> <li>自分の計画にしたがって、調査するテーマに関して有効な情報を集める。</li> <li>調査によって集まった情報を整理して、地図を入れたレポートにまとめる。</li> </ul>	関	世界の様々な地域の調査とその地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>ノート</li> </ul>	世界の中の日本 (6年)
				思	世界の様々な地域の地域的特色を捉える適切な主題を設定し、世界の様々な地域の調査を行う視点や方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>	
				技	世界の様々な地域の調査とその地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>	
				知	世界の様々な地域の調査について、地域的特色とともに、世界の様々な地域の調査を行う際の視点や方法を理解し、その知識を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>	

## 社会科 歴史的分野目標

- (1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。
- (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。
- (4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

関は、社会的事象への関心・意欲・態度、思は、社会的な思考・判断・表現、技は、資料活用技能、知は、社会的事象についての知識・理解

月	単元名	指導目標	指導内容		評価規準	評価方法	小学校との関連
11	第一部 1章 歴史の流れと時代区分 1時代の移り変わりと時代区分  2章 歴史の調べ方まとめ・発表の仕方 1調べるテーマを決めよう 2情報を集めて調べよう 3結果をまとめて発表しよう	小学校で学習した内容を活用した活動を通して、歴史を学ぶ意欲を高めさせる。 年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解させる。 調べ方やまとめ・発表の仕方を身につけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりするなどの活動を通して、時代の区分やその移り変わりに気付かせ、歴史を学ぶ意欲を高めるとともに、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解させる。</li> <li>身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄とのかかわりの中で我が国の歴史を理解させるとともに、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身に付けさせる。</li> <li>学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動を通して、各時代の特色をとらえさせる。</li> </ul>	関	歴史上の人物や出来事に関心を持ち意欲的に学ぼうとしている。	・行動観察	小学校の教科書を資料に歴史上の人物や出来事をふりかえる。
				思	身近な事象から適切に課題を設定し、わかりやすく結論をまとめることができる。	・ワークシート ・ノート ・小テスト	
				技	うまく情報を集め、読み取り、整理することができる。	・ワークシート ・ノート ・小テスト	
				知	時代の移り変わりに気付くとともに年代の表し方や時代区分について理解している。	・小テスト ・定期考査	
12 1	第2部 1章 人類の登場から文明の発生へ	農耕牧畜基盤の古代文明には共通する特色が	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷による統一と東</li> </ul>	関	古代までの特色を捉えようとするとともに古代までの文化遺産を尊重しようとする。	・行動観察 ・ワークシート ・ノート	(1) 縄文のむらから古墳のくにへ ・三内丸山遺跡 ・板付遺跡 ・縄文と弥生の暮らしの比較

	<p>1 人類がたどった進化 2 世界各地で生まれる文明 3 東・南アジアの文明の広がり 4 ヨーロッパで芽生えた文明</p> <p>2章 東アジアの中の倭 1 縄文から弥生への変化 2 ムラがまとまりクニへ 3 鉄から見えるヤマト王権</p> <p>3章 中国にならった国家作り 1 ヤマト王権と仏教伝来 2 律令国家をめざして 3 律令国家での暮らし 4 大陸の影響を受けた天平文化</p> <p>4章 展開する天皇・貴族の政治 1 権力をにぎった貴族たち 2 唐風から日本風へ変わる文化</p>	<p>あることに気付かせる。</p> <p>狩猟採集から農耕への変化が人々に与えた影響を気付かせる。 ヤマト王権による国内統一と東アジアの関わりについて大きく捉えさせる。</p> <p>大陸の制度や文化を積極的に取り入れ律令国家が完成したことを理解させる。 仏教がわが国に与えた影響に気付かせ、国際色豊かな文化が発達したことを理解させる。</p> <p>天皇や貴族の政治の展開を摂関政治などを通して理解させる。 かな文字の発明など、日本独特の国風文化が発展したことを理解させる。</p>	<p>アジアとのかかわりなどを通して、世界の各地で文明が築かれ、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを通して、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族の政治が展開したことを理解させる。</li> <li>・仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを通して、国際的な要素をもった文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを理解させる。</li> </ul>	<p>図</p> <p>古代文明の特色や宗教の起こり、我が国の古代までの大きな流れについて多面的に考察し、その過程や結果を自分の言葉で表現しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・ノート</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉野ヶ里遺跡</li> <li>・巨大古墳と豪族</li> <li>・大和朝廷と国土の統一（2）天皇中心の国作り</li> <li>・法隆寺と聖徳太子</li> <li>・小野妹子と大陸文化の摂取</li> <li>・大化の改新、平城京</li> <li>・聖武天皇と大仏造営</li> <li>・遣唐使や渡来人</li> </ul>
				<p>技</p> <p>古代文明や宗教の起こり、我が国の古代までの国家の形成、文化に関する様々な資料を収集し有用な情報を適切に選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・ノート</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
				<p>知</p> <p>世界各地で文明が築かれ、東アジアの文明と関わり合いながらわが国の国家が形成され天皇や貴族の政治に展開したことを理解し、その知識を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>	

2	第3部 1章 武士の世の始まり 1 各地で生まれる武士団 2 朝廷と結びつく武士 3 鎌倉を中心とした武家政権 4 武士や僧侶たちが広めた文化	武士が台頭し武力や主従関係を背景に武家政権が成立する経緯を理解させる。 武家政権の特色を古代の政治と比較し違いを的確に表現させる。 鎌倉時代の文化と仏教にみられる新しい動きを理解させる。 鎌倉に幕府を置いた理由を学び合わせる。	東アジアとの関わりを元寇、日明貿易、琉球の国際的役割を通して理解させる。	・鎌倉幕府の成立、南北朝の争乱と室町幕府、東アジアの国際関係、応仁の乱後の社会的な変動などを通して、武家政治の特色を考えさせ、武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が次第に全国に広まるとともに、東アジア世界との密接なかかわりがみられたことを理解させる。  ・農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、禅宗の文化的な影響などを通して、武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。	関	武家政権の成立と武家社会の発展、民衆の成長、東アジア世界との関わりに関心を高め意欲的に追求し、今日に残る中世の文化遺産を尊重しようとする。	・行動観察 ・ワークシート ・ノート	・藤原道長と貴族の生活 ・日本風の文化  (3) 武士の世の中へ ・武士の暮らし ・源平の戦い ・鎌倉幕府の始まり ・元との戦い  (4) 今に伝わる室町文化 ・金閣や銀閣 ・書院造りと室町文化 ・雪舟と墨絵 ・生活の中の室町文化
	2章 武家政権の内と外 1 海をこえてせまる元軍 2 後醍醐天皇の挑戦と新たな幕府 3 東アジアの交易と倭寇 4 琉球とアイヌの人々がつなぐ交易			思	武家政権の成立と発展、社会の変化、諸産業の発達と民衆の成長について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・ワークシート ・ノート ・小テスト ・定期考査		
	3章 自力救済が広がる社会 1 技術の発達とさまざまな職業 2 民衆による自力救済 3 全国に広がる下克上 4 庶民生活の大きな変化	諸産業が発達し都市や農村に自治的なしくみが生まれるなど人々の生活が向上し商品流通が活性化したことに気付かせる。 武家政治の展開や民衆の成長を背景とした新しい文化が生まれたことを理解させる。		技	武家政権の成立と発展、社会の変化、文化のひろがりに関する資料を収集し有用な情報を適切に選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・ワークシート ・ノート ・小テスト ・定期考査		
				知	武家政権の成立と発展、社会の変化を東アジア世界との関わりが見られたことを理解し、その知識を身に付けている。	・小テスト ・定期考査		

3	第4部 1章 大航海によって結び付く世界 1 イスラムの拡大とヨーロッパの変化 2 大航海時代の幕開け 3 東アジアの貿易と南蛮人  2章 戦乱から全国統一へ 1 信長・秀吉による全国統一 2 秀吉が導いた近世社会 3 戦国大名と豪商が担った安土桃山文化	新航路の発見やルネサンス、宗教改革によるヨーロッパの新しい動きに伴って鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿易がさかんになり、それらが日本の社会に影響を及ぼしたことを理解させる。 新航路開拓の理由について学び合わせる。  信長・秀吉の新しい政策により中世の社会が大きく変化したことに気付かせる。 新航路の発見やルネサンス、宗教改革によるヨーロッパの新しい動きに伴って鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿易がさかんになり、それらが日本の社会に影響を及ぼしたことを理解させる。	・戦国の動乱、ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを通して、近世社会の基礎がつくられていったことを理解させる。	関	近世社会の成立と幕藩体制による支配の確立、町人文化に関心を高め、意欲的に追究し、近世の文化遺産を尊重しようとする。	・行動観察 ・ワークシート ・ノート	(5) 戦国の世界から江戸の世へ ・織田信長（安土城・鉄砲、商工業、キリスト教の保護） ・豊臣秀吉（大阪城、見地、刀狩）
				思	近世社会の成立と幕藩体制による支配の確立、町人文化の動き、産業・交通の発達について多面的・多角的に考察しその過程や結果を適切に表現している。	・ワークシート ・ノート ・小テスト ・定期考査	
				技	戦国の動乱、ヨーロッパ人の来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・ワークシート ・ノート ・小テスト ・定期考査	
				知	近世社会の基礎がつくられていったことを理解し、その知識を身に付けている。	・プリント ・ノート ・小テスト ・定期考査	